



2021年10月16日

森と海の自然科 活動報告

テーマ「海」Bグループ

### 柴島浄水場見学と柴島集落及び淀川堤敷散策の記録

記録；木村、集合写真；大石

日時 2021年10月14日(木) 快晴 気温28度  
集合 10時 柴島浄水場 正門前  
参加者 19名

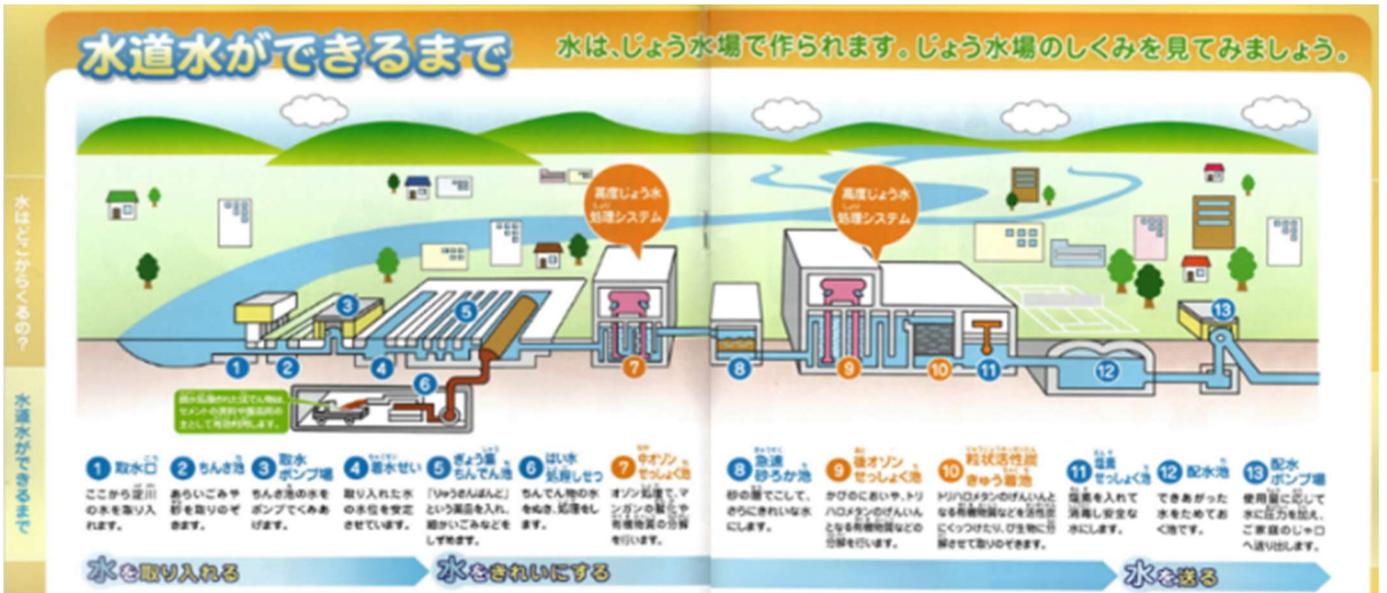
**午前：**水道記念館の中で職員の方からお話を聞き、大阪の水道についての紹介動画を見ました。

\* 雨水が浄水場に流れ着くまでの水の旅…

琵琶湖→宇治川・木津川・桂川⇒淀川⇒浄水場

\* 淀川の水の取り入れは3つの浄水場

柴島(中・北部)・庭窪(中・西南部)・豊野(中・東部)をへて大阪市全域に飲み水を届けている。



#### ★記念館内での説明内容

\* 安全安心の水を届けるための様々な取り組み

川の水が飲み水になるまでの処理・水質検査・災害時の応急給水のための配水場等々。

1日に一人が使う水の量 240 リットル

\* 記念館の中には江戸の頃の町並みの中の水売りの風景、

送水ポンプ等々の展示



\* 川の水をキレイにする実験もしました。

安全安心の水はオゾンと粒状活性炭を使ってつくられているとのこと。



#### ★浄水場施設の見学



正面の扁額は「送水<sup>ほんぶ</sup>唧<sup>おん</sup>筒<sup>とう</sup>場」と読むそうです。



大阪浄水場 水道記念館前 送水唧筒場

\* 浄水場の敷地は大阪市内中心部に近い場所なのに広々とゆったりしていました。



\* 浄水になるまでの過程を見学。



浄水過程で発生した土は埋め立てなどで再利用



砂利や砂で水をきれいにする仕組み

浄水場では、取り入れた水は汚れを沈澱させ、川の水の汚れのついた砂を洗ったり、匂いをとったり、様々な行程を経て安心安全な水がつけられているとのこと。

\* 災害・震災対策の計画・訓練や、太陽光発電など環境にやさしい取り組みなども聞かせていただきました。  
24時間の安定給水の取り組みに感謝でした。



太いパイプ

昼食を挟んで各自で記念館内の展示見学と川の水から汚れと匂いを除く実験も楽しみました。

**午前：13：00** \* 浄水場退館時に記念撮影(於：記念館の正面)



**浄水場の外の散策**

13:30 がらりと風情が変わり、ここからは おおさか？  
とは思われないような古い町並みでした。

\* 摂津国分尼寺伝承地 法華寺



↑ 淀川堤防上で河内木綿を晒した  
という碑



\* 柴島城跡



\* 柴島神社

14:00 柴島歩道橋——橋上での素晴らしい景観をながめ、河川敷に移動。

河川敷公園にはゴルフ場があり、また犬の訓練をしているのか多数の犬が集まっていました。



炎天下の歩きが続いたので、日影でのしばしの休憩。  
そこからは毛馬のこうもん(閘門)が対岸にみえました。  
船の出入りなのか水門が動いており、それがパ  
ナマ運河の小型版であると知り驚きました。もう一  
つの驚きは 魚道があり、ボラの大群が群がって飛  
び跳ね、腹のうろこを見せていたことです↓

↓



この付近に河口から 10 kmの碑がありました。 →

この堰からは海ですとの言葉が耳に残っています。  
少し河口方向に歩いたところで、川の方に足を運ぶと  
柴島干潟が見えるはずでしたが、満潮に向かう時刻  
のため干潟を見ることは出来ませんでした。  
ただ干潟の端っこのぬかるみでは、クロベンケイガニ？  
があちこちで動いていました。



干潟、ヨシ原には多数の生き物が生息しており、  
それを守ることを伝えていきたいとの荘村さんの言葉が  
心に響きました。

15:20 西中島南方駅にて解散

